

## 研修会報告

平成26年12月13日

文責：一般検査部門長 佐藤美砂

研修会名 「一般検査部門 H26年度宮臨技精度管理フォローアップ研修会」

開催日時 平成26年12月13日（土）13：30～17：30

会場 東北大学医学部保健学科A棟 第1講義室

講演1 「尿中有形成分分析装置UF-1000iと尿定性機器との関連性と運用例」

講師 シスメックス株式会社 我妻 陽介 先生

講演2 「精度管理フォローアップ」

① 問題趣旨

講師 宮城県立こども病院 BML 栗原 孝幸

② 尿定性から考える尿沈渣成分～円柱類を中心に～

講師 登米市民病院 高橋 治

③ 臨床編

講師 大崎市民病院 金沢 聖美

生涯教育点数 基礎 20点

参加者 会員参加者33名 非会員2名 賛助会員3名 学生0 実務委員6名 計44名

### 内容

今回の研修会は10月に実施されたH26年度宮臨技精度管理のフォローアップです。

講演1ではシスメックス株式会社の尿中有形成分分析装置UF-1000iの、基本仕様・測定原理・運用症例について講演していただきました。

講演2から本題に入ります。

- ① 精度管理出題担当者から出題理由・解答・正解率の報告と、どのように正解を導いていくのかを説明していただきました。
- ② 尿試験紙結果からどのように沈渣を見ていくのか、乖離があった場合どんなことが考えられるのか。円柱が出現していた場合、各円柱の鑑別方法と臨床的意義について。基礎的な内容から、最新情報まで幅広く講演していただきました。
- ③ 出題に含まれる症例を提示して、見方・考え方・鑑別方法について。異型細胞を見るにはまず、正常細胞を知ること。検査をするにあたっては、患者様の情報もしっかり確認することも大切であるということを講演していただきました。

精度管理に参加されなかった方にも役立つ内容であったと思います。

今回の研修会が、明日からの検査業務・来年度の精度管理に活かされることを期待いたします。